



New Year's Resolution

さようなら2005年、ようこそ2006年。今回は欧米のお正月の様子をお伝えします。一般的に大みそかは友人や家族とパーティーをします。一番盛り上がるのが真夜中の1分前、みんなであわててシャンパンやパーティーグッズを用意するときです。そしていよいよ年越し10秒前カウントダウンが始まり、時計の針が12時を打つとみんな一斉に音を鳴らしてシャンパンを抜きます。そしてキスしたり「ハッピーニューイヤー」と言い合ったり、とにかく盛り上がります。

さらにうれしいのが元旦に家族で祖父母のマルヤマ家で過ごすことです。祖母の手料理の日本食が食べられるのが何よりの楽しみ。輸入物の冷凍ですが餅もあります。そしてお腹がいっぱいになったら今年の抱負を話し合います。一年の計は元旦にありですから、自分自身で目標を定めて一年間それに向かって精進するわけです。

わが身を振り返りよく欠点を見つめ、これを直すと誓います。「今年こそもっと食生活に気をつけて運動するぞ」とか「もっと子供との時間を大切にしよう」といった具合。心の大掃除のようなものです。残念ながら三日坊主に終わる人が多いですが、続けられたら最高です。みなさんも何か一つ目標を決めてみませんか。私の今年の抱負は何にしようかなあ。もっとも私を知る人たちはみんな「キムはもうそんなに頑張らなくていいよ」と言うのでしょく。



やちよの絵

Out with the old, in with the new! Let me tell you a bit about the New Year out West. New Year's Eve is generally spent amidst friends and family in the form of a party. The climax comes about a minute before midnight, when everyone rushes to prepare the champagne bottles and party-favors. Ten seconds before midnight everyone counts down to midnight. When the clock strikes 12:00 the noisemakers start going, the champagne starts popping and everyone is kissing and cheering "Happy New Year!" It's so fun! What's even better is New Year's Day. My family spends the day at Grandma and Grandpa Maruyama's house. We all enjoy grandma's home cooked meal as we get to eat Japanese food. Yes, we even eat mochi! (Even though it's frozen and imported). Then with full stomachs we sit around and discuss our New Year's resolutions. A New Year's resolution is a promise that you make to yourself, which you commit to throughout the following year. You look at yourself and scrutinize your weak spots, then vow to fix them. For example, "I will eat healthier and exercise"; "I will spend more time with my kids" etc. It's kind of an O-Soji for the soul. Unfortunately, a lot of people break their resolutions all too soon. However, they're great if you stick to them! Maybe you should try and make one too? I know a lot of people would suggest that I not study so hard as a New Year's resolution. Hmm... I wonder what my resolution will be...

最近、「楽勉」という言葉が流行っています。生活や遊びのなかで楽しみながら身につける勉強法です。英語の場合はどうするか。そのカギはフォニックスにあります。フォニックス (Phonics) とは音と文字の規則を教えるための勉強です。英米の子供たちは小さいときからこれを繰り返し学んでやっとな英語が読めるようになります。読めるだけではなく書けるようになるだけです。日本では、残念ながらこのプロセスがすっぱり抜け落ちていきます。そしていきなり中学校で教科書を読みます。これでは本当は読めなくて当然というくらい子供には負担な

英語学習指導員 宮地晶子の
エイゴのマナビカタ

第21回
読み書きの基礎「フォニックス」

小学校でも英語を取り入れるところが増えていますが、文字指導はしていません。もし小学校のうちからフォニックスのビデオを見せてあげば子供たちは苦しまずに済むでしょう。

実際、うちの子は二歳からフォニックスのビデオを見ていたから今は初めての単語でもスラスラ読める」と言う人に出会ったばかりです。息子さんには小学3年生だそうです。

パソコンをお持ちの方はインターネットで「Starfall.com」をのぞいてみることをおすすめします。とても楽しくフォニックスを学べます。

また、松香洋子著「英語、好きですか。」(読売新聞社)もお薦めです。20年前に英語を教え始めたとき、何かいい方法はないかと探して出てきました。この本でフォニックスを知り目からウロコとはこのことかと思いました。フォニックスは、子供の楽勉の大きな味方です。